

秋葉区(新津地域)における景況調査の結果概要(2024年4月~6月期)

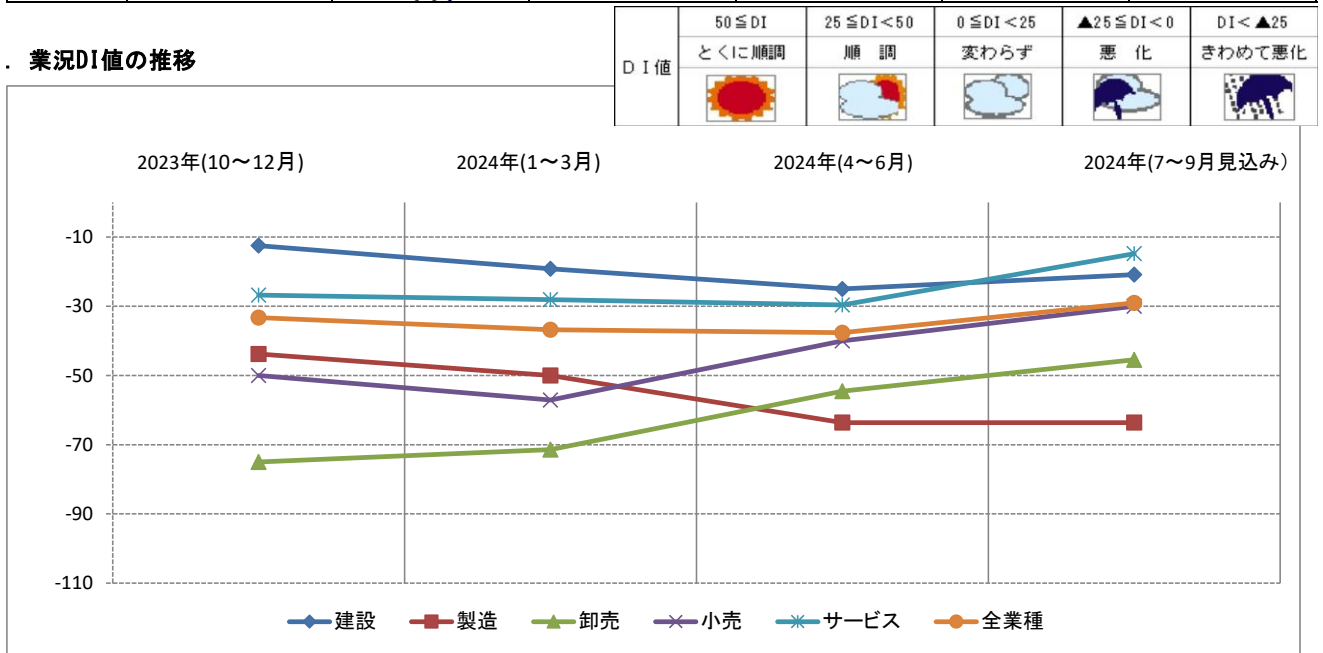
1. 調査対象 100事業所 (有効回答数93社、回答率93%)
2. 対象期間 2024年4~6月期実績 及び 2024年7~9月期の見通し
3. 調査結果の概要

全業種の業況判断DI値がマイナスである中、サービス業では売上高が前期と比較すると微減となり改善したものの、仕入単価や業況は未だ悪化状態が続いている。
 全業種で「需要の停滞」が最も大きな問題であり、次いで「人件費の増加・圧迫」という結果となった。建設業では「下請け業者の確保難」と「設備の過剰」、製造業、卸売業、小売業、サービス業でも共通して「需要の停滞」が主要な問題として挙げられた。価格高騰による企業活動への影響については、60%の企業が「影響が継続している」と答えており、18%が「今後影響が出る可能性がある」と回答していた。
 総じて、多数の企業が厳しい経営環境に直面しており、業種別に異なる課題があるものの、全体としては経済環境の改善が必要という結果となった。

4. 業種別項目別のDI値※ () は見通し

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全業種
売上高	0.0 (△ 4.2) 	△ 54.5 (△ 72.7) 	0.0 (△ 9.1) 	△ 25.0 (△ 25.0) 	11.1 (△ 7.4) 	△ 8.6 (△ 18.3)
仕入単価	△ 75.0 (△ 62.5) 	△ 45.5 (△ 72.7) 	△ 54.5 (△ 54.5) 	△ 75.0 (△ 60.0) 	△ 40.7 (△ 48.1) 	△ 59.1 (△ 58.1)
採算	△ 16.7 (△ 29.2) 	△ 63.6 (△ 36.4) 	△ 9.1 (△ 18.2) 	△ 30.0 (△ 30.0) 	△ 22.2 (△ 37.0) 	△ 25.8 (△ 31.2)
資金繰り	4.2 (△ 8.3) 	△ 36.4 (△ 36.4) 	△ 9.1 (△ 18.2) 	10.0 (△ 15.0) 	△ 7.4 (△ 3.7) 	△ 4.3 (△ 12.9)
従業員数	0.0 (4.2) 	△ 18.2 (△ 18.2) 	18.2 (0.0) 	0.0 (△ 5.0) 	7.4 (△ 3.7) 	2.2 (△ 3.2)
業況	△ 25.0 (△ 20.8) 	△ 63.6 (△ 63.6) 	△ 54.5 (△ 45.5) 	△ 40.0 (△ 30.0) 	△ 29.6 (△ 14.8) 	△ 37.6 (△ 29.0)

5. 業況DI値の推移



6 価格高騰による企業活動への影響について

影響は継続している	影響は出たが、既に収束した	今後影響が出る可能性がある	影響なし
65%	1%	19%	15%